

## 弘法大師1150年御遠忌記念

# 人生は遍路なり

人の短を道うこと無かれ、己の長を説くこと無かれ。人に施し慎んで念うこと勿れ、施しを受けては慎んで忘るること勿れ。右の句は弘法大師座右銘として有名な一節で後漢崔子玉の作と言はれます。拝読すればするほど味はいの深い言葉であります。人の和を保つ最上の秘訣とでも申せましょうか。我々凡夫は二人寄ると人の噂をする。然も讃辞は滅多になく大低は陰口、悪口である。又人の世話になるとき、目的を達する為力を借りたいとき、三拝九拝し相手の迷惑などおかまいなく無理を言つて力を借りるが一度目的が達せられたらケロッとして忘れてしまふ。反面人にしてあげたことは俺がしてやったのだと吹聴したがる。心すべきことであります。

四国霊場第八十一番 白 峯 寺

香川県坂出市  
青海町 2635

<四国八十八ヶ所霊場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

## 人生は遍路なり

五色台は四国の島が備讃瀬戸につき出た山塊で、弘法大師がこの地において五智如来を感得し、山に名前をつけました。即ち東に青峰、西白峰、南赤峰、北黒峰、中央黄峰、そしてこの首峰、青峰に五大明王をまつり当寺を創立しました。

### 五大明王（五大尊）

東方に降三世夜叉（やしや）明王

南方軍荼梨（ぐんだり）夜叉明王

西方大威徳夜叉明王

北方金剛夜叉明王

中央に大日大聖不動明王

弘法大師がおまつりなされたこの五大明王を念じてこの仏のお名前をお唱えすれば私どもの国、家、身を必ず守って下さる有難い仏様でございます。

四国霊場第八十二番 根 香 寺 香川県高松市 中山町 1506

<四国八十八ヶ所霊場会発行>

## 弘法大師1150年御遠忌記念

# 人生は遍路なり

この日本に歴史があるように四国にも、いや讃岐にも歴史があります。そしてこの讃岐に偉大な一人の宗教家、文化人としてお大師様がお生まれになりました。本年は弘法大師御入定、壹千五百年御遠忌大法要の年であります。これを機会に、テレビや新聞雑誌で四国霊場を知ろうとするのではなくして、自分の目で見、耳で聞き、足で歩き、そして、自分の肌で四国霊場を感じとってほしいと思います。そして、皆様方が五十年に一度の大法要の年に順拝できる事をお大師様に感謝し、また一つ、お大師様との御縁を深めていただければと思います。

合掌

高松市一宮町六〇七番地

四国八十三番霊場 一宮寺

四国霊場第八十三番 一宮寺

香川県高松市  
一宮町 607

<四国八十八ヶ所霊場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

## 人生は遍路なり

### 南面山千光院 屋島寺縁起

瀬戸内海国立公園の景勝地で、源平の古戦場として名高い屋島の山上にある当寺は、四国八十八ヶ所第八十四番の札所で南面山千光院と呼び、真言宗御室派に属している。奈良時代の末天平勝宝年間にわが国に迎えられて律宗の開祖となった中国の揚州竜興寺の名僧鑑真かんじんが屋島の北峯に伽藍建立の靈地を開創したのが始まりで、その弟子で東大寺戒壇院の第五代の長老となった惠雲律師（空鉢上人）が、この靈峯に精舎を構えて当寺の第一代となり、弘法大師が伽藍を現在の南嶺に造営して中興開山と仰がれた。平安時代の初めには山岳仏教の靈場として盛大であった。即ち村上天皇の天歷年中には明達律師が来寺して、四天王像を安置したと伝えており、藤原時代の初期（十世紀頃）には現在の本尊千手観音が刻まれた。

四国靈場第八十四番 屋島寺 香川県高松市 屋島東町 1808

<四国八十八ヶ所靈場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

## 人生は遍路なり

「ありがたや高野の山の岩かげに大師はいまだおわします  
なる」これは慈園僧正作といわれお大師さまの御入定を詠  
んだ歌として有名である。お大師さまも人間の生理学的立  
場からは入滅というほかはあるまいになぜ御入定なされた  
といわれるか天長九年御年五十九歳の時高野山に於ける万  
灯万花の願文に「虚空尽き衆生尽き涅槃尽きなば我が願  
いも尽きなん」とある如く生涯を衆生の苦しみを救ふこと  
ではたりず法力によりお元気な法体のまゝ衆生救済の誓願  
を抱きづゝ金剛の禅定にお入りなられたからである。

四国霊場第八十五番 八 栗 寺

香川県木田郡  
牟礼町字牟礼

<四国八十八ヶ所霊場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

## 人生は遍路なり

現代のようにテクノロジーの高度に発達した時代にならば、なる宗教が可能なのでしょうか。わたしたちは生活のあらゆる場面でその相互の戦いのために亀裂が深まるのをかいまみてきています。しかし何んとかうまく統合されているために、科学（地球の破滅）にも宗教（人類の滅亡）にもいたらず、であるが故に、ある種の不信と不満と不快と諦めをいだいたまま、いらだちながらつきあっているのが現状でしょう。

だからこそ、この間隙に横たわる文明の進歩と生物としての人間の進化の過程を、再統合しようとする意識が、現代に求めているのが新しい現代の宗教の役割なのです。

四国霊場第八十六番 志度寺 香川県大川郡志度町志度1102

<四国八十八ヶ所霊場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

## 人生は遍路なり

不生不滅不垢不淨不增不減

人間のきれいな心は、鏡のようなものです。

前に物が来れば、物が映る。けれども鏡の中に生じるもの  
ではありません。映るだけです。物が去れば消えますが鏡  
の中は消えただけです。犬のフンが映っても鏡は汚れませ  
ん。きれいな花が映っても鏡はきれいになりません。

鏡の中は汚れもしなければ、きれいにもなりません。

鏡の目方は増えもしむければ、減りもしません。

そういうきれいな心が本心だとわかることが悟りです。般

若の智慧です。

四国霊場第八十七番 長尾寺

香川県大川郡  
長尾町西 653

<四国八十八ヶ所霊場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

## 人生は遍路なり

四国八十八ヶ所へ、ようこそ御参詣になりました。此の  
霊場は弘仁六年、お大師さまが、御年おんとし四十二才の時開かれ  
ました。徳島県をほっしん発心の道場、高知県が修業の道場、愛媛  
県が菩提の道場、香川県は涅槃の道場と名付けられて居り  
ます。仏さまの道、お大師さまの道を志し、即ち発心して  
八十八の寺々を巡りながら皆様ご自身の心と身体を鍛錬し  
修養を積む場所として開かれました。そして巡拝する者は  
常にお大師さまと同行二人で、お大師様に導かれ、戒めら  
れ、さとされて心の病も、身体の病も消え果て、美しく清  
らかな心身に生まれ変わってゆくことが出来る霊場でありま  
す。そして一人ひとりが仏さまのような心で地域を又広く  
は社会を仏さまの世界に作り上げて行かねばなりません。

四国霊場第八十八番 大窪寺

香川県大川郡  
長尾町多和

<四国八十八ヶ所霊場会発行>

空に問う、海に聞け、そして未来に燃えよ。

弘法大師御入定1,150年御遠忌記念映画



監督 ■ 佐藤純彌  
脚本 ■ 早坂暁

音楽 ■ ツトム・ボウダク

DOBY STEREO

全編 ■ 全員音楽青年連盟

製作 ■ 高野浩

プロデューサー ■ 上村正樹

原上剛

佐藤正樹

高橋一重

原田力 ■ 上村正樹

製作協力 ■ 株式会社東宝

# 空海

北大路欣也  
小川真由美  
西郷輝彦  
真行寺君枝  
佐藤裕介  
石橋蓮司  
丹波哲郎  
室田日出男  
菅貫太郎  
成田三樹夫  
西村晃  
中村錦之助  
加藤剛  
森繁久彌



